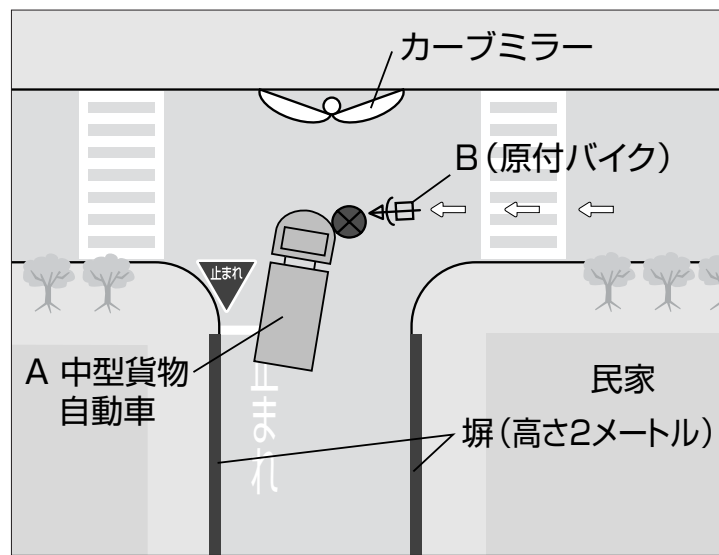


職場における交通安全指導

Part 98

交差点で右折時、右方から進行の原付バイクに衝突した重傷事案



■事故の概要

- 発生状況
日 時：平成23年2月某日 午後6時頃
天 候：雨
- 発生場所
片側一車線の市道 信号機のない交差点
- 事故の当事者
運転者 A (中型貨物自動車)：23歳、男性
相手方 B (原付バイク)：50歳、男性
- 被害状況
A：右側アルミパネル破損
B：脳挫傷 (後遺障害3級3号)
原付バイク大破

事故状況

Aは子供の頃から車が好きで、高校卒業後に運送会社に就職した。運送業での乗務歴は4年で、Aは勤務する運送会社で、食品配送センターの食品をスーパーやコンビニエンスストアに配送する業務を担当していた。

事故当日、Aは食品配送センターから担当区域

のスーパーやコンビニエンスストアに向かっていった。月末だったためか、道路が混雑し、次の納品先への予定時間が40分ほど遅れていたこともあり、気持ちが焦っていた。

事故の発生場所は、片側一車線道路の市街地交差点で、道路の両脇には高さ約2メートルの塀があり、見通しの悪い交差点であった。

Aは交差点に差し掛かり、右折のため方向指示器を出し、「カーブミラーに原付バイクが映っていたが、遠くに見えたので右折しても大丈夫だろう。」と思い、一時停止をしないで徐行で交差点を右折した。

その時、右側から衝撃音と同時に車体の右側に衝撃を受けた。慌てて車を止め、運転席から降りてみると、自車の右側に原付バイクが横倒しになっており、Bがうつ伏せの状態に倒れていた。

この事故の原因として、カーブミラーで原付バイクの存在を確認したものの、原付バイクの車体が小さく映っていたため遠くにいると判断し、次

の納品先に間に合わせようと先を急いでいたこともあり、交差点を一時停止せずに右方の安全確認を怠ったまま右折したことであると考えられます。

二輪車の特性

二輪車の特性として以下の点があげられます。

1. 車体が小さい

車体が小さいので遠くにいるとみられず、また速度が遅く感じられるため、交差点に接近していても、まだ間に合うと判断しがちです。

2. 進路変更や追い越しなど運転の変化が多い

機動性に富み、ライダーの微妙な体重移動で進路を変えることができるので、進路変更や追い越しなどを頻繁に行いがちです。

3. 全身を露出した状態で運転し、天候に左右されやすい

二輪車はバランスをとって乗るものですので、少しの接触でバランスを崩し転倒しやすく、そのうえ全身が露出しているため大事故に繋がりがちです。また、雨や風の影響を受けると更にバランスを崩しやすく危険が増大します。

安全指導

① 右方向からくる二輪車に注意

信号機のない交差点で右方向からくる二輪車を確認した時は、速度を過小評価せず、二輪車の動向をしっかり確かめ、性急な判断や行動を慎みましょう。

② 目視による安全確認の徹底

見通しの悪い交差点では、カーブミラーを使って安全確認をすることは大切ですが、カーブミラーに頼りすぎることはとても危険です。

ミラーでは、接近相手の存在確認を行うだけに留め、最終確認は目視で行いましょう。

③ 段階的な安全確認の実施

目視確認をするには、一時停止の停止線の手前でまずカーブミラーで交差する道路の交通状況を確認し、車両前部が道路上に出るまで徐行しながら左右の目視可能な視界を確認し、相手に対して自分の存在をアピールし、未然の事故防止に努めましょう。

今年度に入り、ドライバーのちょっとした不注意による交通事故が多発しており死亡事故や相手に重傷を負わせるといった重大事故となっているケースが目立っております。

組合員事業所におかれましては、ドライバーに対し、目視による安全確認を徹底させ、交通事故を押し止すためにより一層の安全運転のご指導をお願いいたします。

平成26年度
交協連「交通事故防止標語作品」より

交差点
一息ついて
最徐行

交差点
見る癖待つ癖
止まる癖

焦らず 無理せず
今日も一日
安全運転